



# 凡事徹底

## 当たり前のことを当たり前

蕨市立第二中学校  
学校だより  
令和7年度  
第4号(7月号)



## あいさつ

校長 椿 智絵

早いもので、1学期も残りひと月となりました。夏の暑さも本格的になり、体調管理が難しい時期になりましたが、中学生は毎日元気に学校生活を送っています。1学期は、多くの行事があり、慌ただしかったと感じている生徒も多いと思います。1年生は中学校に慣れて、楽しく生活している様子が伺えます。2年生は先輩として行動し見本を示してくれています。3年生は、最上級生としての自覚が多くの場面で見られました。それぞれに大きな成長が感じられた1学期でした。保護者の皆様にも、様々な場面でご支援とご協力をいただきありがとうございました。

さて、本校の校訓は「凡事徹底」です。当たり前のことを当たり前に行うという意味です。フランス料理の一流のシェフにどうしたらこんなにおいしい料理を作ることができるのか、料理のコツを聞いたところ、「当たり前のことを当たり前にするだけです。」と答えられたそうです。料理のプロでも大事にしていることは当たり前のことであり、当たり前に行うことの大切さがわかります。

しかし、当たり前のことを当たり前に行うこと、またそれを続けていくことは、簡単そうですが、これが意外と難しいものです。そこで、本校では、学校だより4月号でも示しましたが、「二中Basic」を定めて、当たりの基準を示しました。

例えば「学習Basic」の1つ目に、「授業の最初と最後の大きなあいさつ」、「生活Basic」の1つ目に、「自分からあいさつ」を挙げて、挨拶の大切さを示しています。

「あいさつ」には、①会話や交流を始めるきっかけとなり、相手との距離を縮める、②相手を尊重し、存在を認める意思表示になる、③挨拶の積み重ねが、信頼関係を築く土台となる、④挨拶をすることで、自己肯定感が高まり、前向きな気持ちになれる、

⑤社会生活を円滑に進める上で不可欠な要素である、という意義があります。

やはり、一番簡単なコミュニケーションである「あいさつ」は、大切なことであり、当たり前のこととして身に付けるべきことなのだと思います。

今年度も生徒会本部の皆さんが企画をしてくれた「あいさつ運動」が、6/9(月)～6/20(金)の期間で行われました。朝、登校時に聞こえる生徒の皆さんの「おはようございます」の元気な声は、とても気持ちの良いもので、「今日も1日頑張ろう」とやる気と元気を引き出してくれます。あいさつ運動があるなしに関わらず、第二中学校が常に元気な挨拶であふれる学校になるよう、まずは自分から大きな声で挨拶をするように心掛けていこうと思います。

### 二中Basic ～凡事徹底～

#### 学習Basic

- ・授業の最初と最後の大きなあいさつ
- ・メリハリのある授業環境
- ・正しい姿勢



#### 生活Basic

- ・自分からあいさつ
- ・時間厳守
- ・正しい服装



#### 給食Basic

- ・50分のチャイムで着席
- ・当番はエプロン・三角巾

#### 清掃Basic

- ・全員そろって始めの会・反省会
- ・心を込めて隅々まで
- ・今日の汚れは今日落とす



#### 家庭Basic

- ・家庭学習1時間
- ・朝ご飯100%
- ・忘れ物ゼロ



#### 《学校教育目標》

- 自ら学び、深く考える生徒 (知)
- 心豊かで、思いやりのある生徒 (徳)
- たくましく、健やかな生徒 (体)

蕨市立第二中学校

電話：048-443-2670 FAX：048-443-2671

URL：<http://www.warabi.ne.jp/~warabi-2/>

e-mail：warabi-2@warabi.ne.jp